

緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

# 風ノハルカ

Chiba Haruka volume5

## 川根本町の魅力をさらに見つけていきたい

秋も深まり、だんだん朝晩の冷え込みが強くなってきました。紅葉の季節です。私の実家のほうには一切山がなく、人の服装を見て今の季節を知るぐらいなのですが、川根にいと数分散歩しているだけで木の実や葉の色で四季を感じることができます。

\* \* \* \* \*

先日「千年の学校」の一環で、本町のお宝発見ツアーに行き、接岨から原山まで丸一日かけて見てまわりました。まず奥泉から接岨峡温泉駅まで井川線に乗りました。夏にも一度井川線に乗ったのですが、そのときは山の色合いがまったく違い、特にダム湖水面に移った色がとてもきれいで目に楽しかったです。

井川線乗車後に八橋小道へ。大石博人さんの説明を聞きながらのウォーキングです。階段の段差が絶妙で、高すぎもせず低すぎもせず、ちょうどいい歩幅で歩けるので疲れにくく感じました。近くから聞こえる沢の音が、歩いて暑くなってきたところに響き、心地よかったです。

天狗石茶屋で美味しいお弁当を食べて一服した後、また移動。次は平田の大石博人邸に。入ると小さなワンコがお出迎えてくれました。新しくつくったというはなれを見せてもらい、犬間釈迦堂で地区の説明を聞きました。はなれは新しい木の香りを漂わせていて、囲炉裏もある素敵な建物でした。こんなところに住んでみたいなあと思いました。

徳山の愛宕地蔵堂に移動し、長濱寛二郎さんの話を聞きました。巨大数珠を見たり、子宝、安産に効き目のあるお堂や年代物の常夜燈も見学しました。

そしていよいよ天空の茶産地、ヒロヲ地区大茶園に。植えてあるすべてのお茶がおくひかりという画期的な茶畑、何回見ても圧巻の一言です。高地だけあって、空や山がとてもきれい。そんな素敵な環境の中で作られている赤ラベル奥光、黒ラベル奥光の飲み比べをしました。どちらもとってもおいしかったです。

\* \* \* \* \*

このお宝発見ツアーで「本町は広い」とあらためて感じました。初めて行く場所も多くて楽しかったです。

これから残された活動期間で、この町の魅力をさらに見つけていきたいと思っています。

## 千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

### 緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

